

\*\*\*\*\*

## 「キース・ヘリング展 アートをストリートへ」

日本初公開作品や6メートルの超大作など約150点が一堂に！

9月28日(土)～11月16日(土) 松坂屋美術館

\*\*\*\*\*

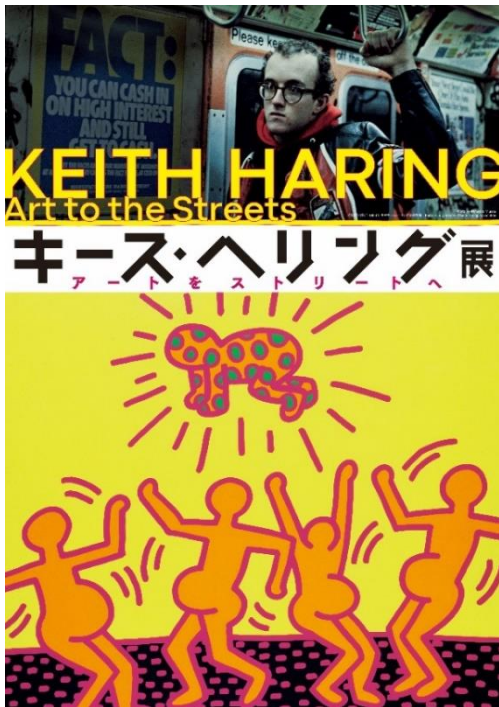


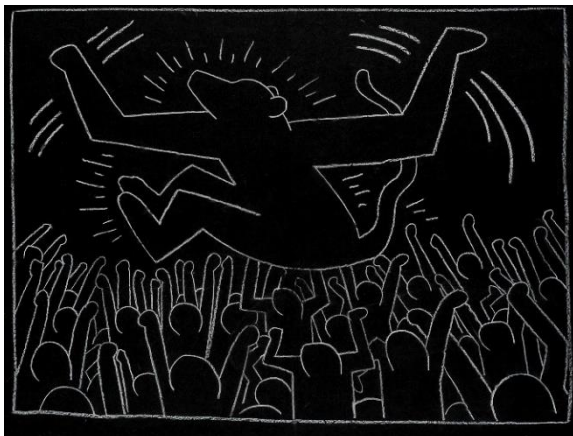
Photo by ©Makoto Murata  
Keith Haring Artwork ©Keith Haring Foundation

メ〜テレ(名古屋テレビ放送)は、2024年9月28日(土)から11月16日(土)までの期間、名古屋・松坂屋美術館にて、「キース・ヘリング展 アートをストリートへ」を開催します。明るく、ポップなイメージで世界中から愛されているキース・ヘリング。ヘリングは「アートはみんなのために」という信念のもと、1980年代のニューヨークを中心に地下鉄駅構内やストリート、つまり日常にアートを拡散させることで、混沌とする社会への強いメッセージを発信し、人類の未来と希望を子どもたちに託しました。ヘリングが駆け抜けた31年間の生涯のうちアーティストとしての活動期間は10年程ですが、残された作品に込められたメッセージはいまなお響き続けています。

本展は6メートルに及ぶ大型作品を含む約150点の作品を通してヘリングのアートを体感いただく貴重な機会です。社会に潜む暴力や不平等、HIV・エイズに対する偏見と支援不足に対して最後まで闘い続けたヘリングのアートは、時空を超えて現代社会に生きる人々の心を揺さぶることでしょう。

### 見どころ

#### ■ニューヨーカーを魅了し、ヘリングを一躍有名に！《無題(サブウェイ・ドローイング)》



1980年、人々の日常の一部として見てもらうことのできる場所として、ニューヨークの地下鉄駅構内の空いた広告板に貼られた黒い紙にチョークで描く「サブウェイ・ドローイング」を開始。公共施設へのグラフィティは違法行為のため、警官に捕まらないよう素早く描き、地下鉄に飛び乗って次の駅へと向かいました。コミカルで人々の思考や想像力を刺激するイメージは、瞬間にニューヨーカーを魅了。有名になるにつれてドローイングは剥がされ、売買されるようになったため、1986年にこのプロジェクトは中止されました。猿のような動物が大勢の人びとに持ち上げられている本作のように社会風刺的な作品や、新年の挨拶のようなコミュニケーションツールとしての作品も制作されました。

1981-83年 中村キース・ヘリング美術館蔵  
Keith Haring Artwork ©Keith Haring Foundation

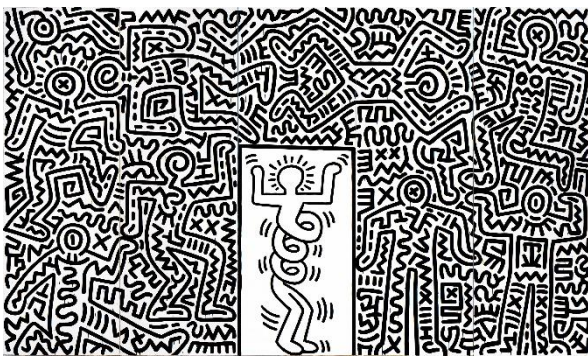
■ブラックライトで浮かび上がる作品を会場で体感《無題》



1983年 中村キース・ヘリング美術館蔵  
Keith Haring Artwork ©Keith Haring Foundation

フランシス・ベーコンやジャン＝ミシェル・バスキアの展覧会を手がけた80年代のソーホーの大手画廊、トニー・シャフラジ・ギャラリーより1983年に出版された版画シリーズ。本作には蛍光インクが使われており、ブラックライトにより光を放ちます。この作品シリーズには、ピラミッドやアングの十字架など生命のシンボルが描かれ、光り輝く妊婦やダンスの動きが盛り込まれることで、母親たちの強さを讃えているといえるでしょう。身体の動きを表現する線（アクションライン）が効果的に使われています。

■幅6メートル、圧巻の超大作！『スウィート・サタデー・ナイト』のための舞台セット



1985年 中村キース・ヘリング美術館蔵  
Keith Haring Artwork ©Keith Haring Foundation

『スウィート・サタデー・ナイト』のための舞台セットは、黒人歴史月間にニューヨークの芸術劇場ブルックリン・アカデミー・オブ・ミュージックで行われたダンス・パフォーマンスの舞台背景として制作されました。『スウィート・サタデー・ナイト』は、1985年に上演された黒人のストリートダンスと、社交ダンスの誕生300周年を記念したパフォーマンス。本作には横幅6メートルを超える大画面いっぱいに黒い線でダンサーが踊るように描かれており、この作品の前で踊られたブレイクダンスが作品に息を吹き込みました。

■キース・ヘリングの集大成《無題》



1988年 中村キース・ヘリング美術館蔵  
Keith Haring Artwork ©Keith Haring Foundation

最後となる個展のために制作された三角形の大作《無題》は、下書きをせずにリズムカルなラインで描かれていく作品とは異なり、かたちと色づかいを事前に慎重に構成した上で描かれています。本作ではヘリング独自のスタイルに、アンディ・ウォーホルのカモフラージュの作品を引用したり、1960年代にフランク・ステラらが用いた四角形ではないキャンバスである「シェイブ・キャンバス」を取り入れるなど、美術史を研究し、表現に取り入れてきたヘリングの集大成とも言える作品です。

※展示作品は都合により変更になる場合があります

## 展覧会オリジナルグッズ

© Keith Haring Foundation. Licensed by Artestar, New York.

本展覧会のみでしか手に入らないオリジナルグッズも多数！本展のためだけにデザインされたアイテムや、お土産にぴったりなお菓子など個性豊かなアイテムの一部をご紹介します。



### キャップ 4,180円（税込）

《アイコンズ》の刺繍があしらわれた、展覧会オリジナルのキャップです。後ろのベルトでサイズ調整が可能。展覧会ロゴの刺繍も入っています。



### ポーチ 各3,080円（税込）

全2種。《アンディ・マウス》と《アイコンズ》のワンポイントが可愛い、展覧会オリジナルポーチ。コスメはもちろん、充電器なども入るよう少し大きめのサイズ感にこだわりました。



### ステッカー 各600円（税込）

全6種。どのデザインに出会えるかはお楽しみに♪パソコンやスマートフォンなど、お好きなところに貼ってくださいね。



### バイクドクッキー缶 各1,350円（税込）

全2種。《アンディ・マウス》の絵柄がかわいい缶に入ったバイクドクッキー。蝶番付きの缶は、食べ終わった後も小物を整理するのに便利です。



### グミ 各972円（税込）

全2種。《ブループリント・ドロ잉》の絵柄をあしらった手のひらサイズのガラスビン。中にはラディアント・ベイビーの形をしたチェリー風味のグミがはいっています。

※ご来場の時期によって、会場併設ショップでの取り扱い商品が異なる場合がございます。

※商品は数量限定でのご用意の為、完売となる場合がございます。

※商品ラインナップ、商品名、価格、デザイン、仕様は変更になる場合がございます。

## イベント概要

- イベント名：キース・ヘリング展 アートをストリートへ
- 開催期間：2024年9月28日(土)～11月16日(土) ※会期中無休
- 開館時間：10:00～18:00 ※入館は閉館の30分前まで
- 会場：松坂屋美術館（松坂屋名古屋店 南館7階）
- 主催：松坂屋美術館、Me~TeL
- 特別協力：中村キース・ヘリング美術館 ■協力：ぴあ ■企画：朝日新聞社、東映
- 名古屋展HP：[https://www.nagoyatv.com/program\\_sp/keith-haring.html](https://www.nagoyatv.com/program_sp/keith-haring.html)
- 展覧会公式HP：<https://kh2023-25.exhibit.jp/>
- チケット発売日：7月27日(土) 10:00より各プレイガイドで前売券発売
- 入館料：

|                | 一般・大学生 | 中高生    | 小学生  |
|----------------|--------|--------|------|
| 当日券            | 1,800円 | 1,200円 | 500円 |
| 前売券・ご優待        | 1,600円 | 1,000円 | 300円 |
| 平日ペアチケット（前売のみ） | 3,000円 | —      | —    |

(税込)

※前売券は9月27日(金)までの販売

※平日ペアチケットはローソンチケットで前売のみの取り扱い

※未就学児以下無料

※障がい者手帳（身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳）、小児慢性疾患手帳、被爆者健康手帳、特定疾患医療受給者証、特定医療費（指定難病）受給者証、デジタル障害者手帳「ミライID」をご提示の方、およびその介添えのための同伴者1名様まで無料

※学生料金で入場の際は要学生証提示

※松坂屋の各種ご優待に関しては、松坂屋美術館HPでご確認ください